例会報告

第２３１８回例会報告議事録
日時　２５年１１月２６日（火曜日）
場所　ホテル　マークワン　我孫子
時間　１２：１５点鐘

ロータリーソング「奉仕の理想」
ゲスト：第2790地区 ガバナー　関口徳雄様
第2790地区 ガバナー補佐 風澤俊夫様
第2790地区 ガバナー補佐幹事 中山浩一様

会長挨拶　米田会長

先ほど、関口ガバナー、風澤ガバナー補佐、中山ガバナー補佐幹事とレストランの方で懇談会を致しました。

数年しか見ていないのですが、今まで私が見た限りではガバナー公式訪問は年当初にありましたので、今日は私の中では、やっとこの日が来たか、という気持ちです。まだ一年間の半分ですが、やっていないことが沢山あります。

昨年の会長である丸田会員が毎年、当たり前の様に活動計画書を作成してくださっていますが、ロータリーの目的等改めてきちんとした文章にしてくださり、「このクラブにはアンテナを張っている方が多くいらっしゃる」とガバナーからお褒めの言葉をいただきました。

本日はガバナー公式訪問です。クラブ協議会で委員長の皆様のお話しがありますが、今まで経験されたこと等をお話しして頂きたいと思います。また新入会員の方のお話しも聞かせて頂きたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

親睦委員会報告　小池委員長

来月12月7日の観劇は移動例会ではなく、あくまでも親睦活動です。
バスに乗り遅れる事がありませんようお願い致します。

出席報告　塩毛委員長

２１名出席（全員で２５名）　出席率８４％

幹事報告　荒井幹事

・例会変更のお知らせ

柏RC　１２月１８日（水）忘年例会
２６年1月1日（水）・8日（水）休会
２６年1月１５日（水）新年家族例会

柏西RC　１２月２７日（金）休会
２６年1月１０日（金）夜間家族新年例会

柏東RC　クリスマス家族例会へのご招待
１２月２３日（月・祝）午後5時半よりクリスマス例会
場所：ザ・クレストホテル柏

風澤ガバナー補佐　関口ガバナー

例会風景

ご挨拶

第２７９０地区 ガバナー　関口 徳雄 様

皆様、今日は（今晩は）。国際ロータリー第２７９０地区ガバナーの関口徳雄です。
所属は浦安ロータリークラブです。

皆様、既に御案内のとおり、本年度ＲＩ会長ロン・Ｄ・バートン会長が提唱したテーマは「 Engage Rotary, Change Lives 」日本訳として「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」というものです。

更に、この意味を以下のように申しております。

ロータリーの奉仕では、努力すればするほど多くを得ることができ、ロータリーを真に実践し、ロータリーの奉仕と価値観を日々活かす決意をすれば、自分がいかに素晴らしい影響をもたらすことができるか分かるはずです。

そうすることによって、初めて人々の人生を真に豊かにしようというやる気・パワーが湧いてくるのです。そして何よりもあなた、つまりロータリアン自身の人生が豊かになるはずです。

このフレーズは、アーサーシェルドンの説いた「 He（One） profits most who serves Best 」つまり、奉仕の理念の第二標語に通ずるものとして、私は勝手に解釈しまして地区チームセミナーで申し上げたのですが、後に6月の広島平和フォーラムの席上で私の同期のガバナーエレクトがロンバートン氏に質問したそうです。その時、同氏は、この「 Engage Rotary, Change Lives 」と第2標語は同じ意味だと答えたそうです。

私の本年ガバナーとしての地区運営の方針等につきましては、三大セミナーで申し上げ、又、活動計画書にも記載してあります。

＜元気なクラブを目指して＞（例会は、楽しく且つ緊張あるものに・・・！）

奉仕と親睦（友愛）は、ロータリーの2本柱であり、車の両輪であることは過去幾多の先輩ロータリアンが繰り返し述べているところです。そして、奉仕と親睦の両輪が競うように力強く回っている状態をロータリーでは「元気なクラブ」と言います。

「親睦」と「親睦活動」を混同する方も多いようですが、両者は違います。

親睦とは、申すまでもなく「奉仕の心」を作り出すための例会における諸活動でありますが、ロータリアン個人の心と心が結合した過程であって、互いに切磋琢磨しながら自らの人格を磨きあう状態を表す概念であります。従って、例会の位置づけが最も大切になります。

そのためには、会員卓話にもひと工夫が必要でしょう。マンネリ化した事務的な卓話ではなく、時にはユーモア、ウイット、そしてジョークに富んだ話の中で、奉仕の理念の真髄に迫る研ぎ澄まされた卓話が求められます。

そして、私が各クラブに求める例会の在り方は「例会は楽しく且つ緊張あるものに・・・！」です。

更に今年度は今一歩進め、「会員に奉仕の心を増強させる一つの機会として」ゴルフ・野球・テニス・その他ロータリアンの趣味の世界、即ち、親睦活動を推奨したいと思います。これら趣味の中で、会員同士の深い絆を築いて欲しいと思います。それは結果的に退会防止に繋がるからです。そして、私は、次のように申し上げたい。「ロータリーに潤いを、そして活力を・・・！」と。

＜ロータリーを知らずに退会していく3年未満の新会員の問題＞

２年か3年かはともかく、各地区で新会員がロータリーの何たるかを知ることなく辞めてゆく問題がクローズアップされております。そして、当地区においても然りです。

それを防止する手段の一つとして、会員研修が必要であると思います。

本年度は、早急にガバナー補佐の協力のもと、地区研修リーダー主催による情報研究会を実施しますが、目的は各クラブのベテランロータリアンによる新入会員へのオリエンテーションの実施を目指します。必ず実施して下さい。

前述の親睦活動による会員同士の絆に加え、退会防止へと繋げたいと思います。

＜職業奉仕と他の奉仕活動の関係＞

私の極めて個人的な考えですが、職業奉仕委員会は、奉仕活動というより職業を通じた自己研鑽委員会とでもいうべきものではないかと思います。

純粋にロータリアン個人にとっての職業奉仕をかんがえた場合、これは極めて道徳的哲学的なものであり、自己研鑽に励むことが中心であって、特定のプロジェクトのように外部からハッキリと見えるものではありません。

しかし、この職業奉仕は、「ロータリアンの基本」あるいは「ロータリーの心」と言われているものですから、絶対に失念することはできないのであります。

要するに、職業奉仕については、ロータリアン一人一人が大事にし、これを奉仕活動の要ないし基礎として捉え、常に振り返る必要があるのです。

つまり、職業奉仕は、これを除く四大奉仕の精神的支柱（バックボーン）であって、キリスト教の聖書、

職業奉仕について意味内容定義はともかくとして、「なぜ我々は職業奉仕を理解しなければならないのか?」ですが、ロータリーが他の奉仕団体と異なるのは、この職業奉仕という独特の奉仕活動を持っていることです。

この点については、全てのロータリアンが認めることだと思います。

そうしますと、当然のことながら、ロータリアン一人一人が「職業奉仕とは何なのか」「職業奉仕が如何なるものか」ということについて十分に理解しておく必要があり、ロータリーの内外からいつでも誰に対しても（自らの見解とし）職業奉仕を説明できなければならないのです。

ひるがえって、新入会員に対しても、ベテランロータリアンがしっかりとオリエンテーションを実施して、この点を認識させ、職業奉仕を理解させなければならないのです。

ついでながら、職業奉仕を更に深く理解するためには、その「対となる」ところの社会奉仕を正しく理解しないと、結局のところ、職業奉仕と社会奉仕の区別がつかなくなってしまうのです。

そこで、職業奉仕と社会奉仕を厳密に分ける必要が生じてくるのです。そして、当然のことながら「Ｉserve」か「We serve」かの区別にも関連します。

＜私が考える職業奉仕とは＞

極めて抽象的な表現ですが、「自分の仕事の中で、奉仕の理念を追求すること」に尽きると思います。あくまで個人がなすことです。具体的に申しますと、

①ロータリアンとしては、先ず第一に自分の仕事を真面目にコツコツと一生懸命行うことです。そのためには、自分の仕事に誇りと責任を持ち、又、常に職業倫理的道徳的水準の向上を図らなければなりません。

②第二に、他の人の仕事の価値観も同時に認めることです。

③第三に、自分の仕事の腕を社会に役立てることです。

そして、その際の手法は、奉仕の理想（理念）を目標に、２つの標語　超我の奉仕 － 弱者を助ける人道的な奉仕活動 He profits most who serves best － 事業の継続的な繁栄を願う職業奉仕理念　を胸に秘め、４つのテストを秤（計り）として、８つの行動規範に基づいて行うことであります。

では、クラブを何をすべきかと言うと、クラブは、この模範となるような実例を示したり、クラブ会員が自己の職業上の腕を発揮できるようなプロジェクトを開発することによって自己の目標を実践できるように推奨することであります。

ニコニコＢＯＸ

お名前	メッセージ	金　額
第２７９０地区 ガバナー 関口徳雄様		５,０００円
第2790地区 ガバナー補佐幹事 中山浩一様	カレンダーありがとうございます。	１,０００円
荒井幹事	ガバナーとの懇談で大変勉強になりました。	２,０００円
伊藤会員	カレンダーありがとうございました。早速使わせてもらいます。	１,０００円
井上会員	カレンダー頂きました。	１,０００円
上村晃一会員	丸田会員から我孫子ＲＣのカレンダーを頂いて。	１,０００円
上村文明会員	麗沢大学 租税法講座 無事終りました。	１,０００円
木村会員	２０１４年カレンダーありがとうございます。	１,０００円
小池会員	丸田会員カレンダーありがとうございました。	１,０００円
塩毛会員	カレンダーを頂きました。	１,０００円
鈴木会員	カレンダー頂きました。	１,０００円
高島会員	カレンダーありがとうございました。	１,０００円
高橋会員	すばらしい絵のカレンダーありがとうございます。	１,０００円
瀧日会員	太平洋印刷様から我孫子ＲＣのカレンダーを頂きました。	１,０００円
野田会員	カレンダー頂きありがとうございます。	１,０００円
服部会員	孫の七五三お祝いしました。	１,０００円
松本会員	カレンダーありがとうございます。	１,０００円
丸田会員	祝 ガバナー公式訪問。カレンダーありがとうございます。	１,０００円
依田会員	丸田様、カレンダーありがとうございます。	１,０００円
米田会長	カレンダーありがとうございます。公式訪問ありがとうございます。	２,０００円
	当 日 計	２６,０００円
	今期累計	１９３,５５０円

我孫子ＲＣクラブ協議会

司会進行：我孫子ＲＣ幹事　荒井幹事

１４：００　クラブ協議会　各委員会活動報告発表　　各委員会5分

・クラブ管理運営委員会　　上村 文明 委員長
・職 業 奉 仕 委 員 会　　野田　進 委員長
・社 会 奉 仕 委 員 会　　鈴木 公三 委員長
・国 際 奉 仕 委 員 会　　星野　栄 委員長
・新 世 代 奉 仕 委 員 会　　服部 広司 委員長

１４：３０～ ガバナーとの意見交換

会長挨拶　　米田会長

これからクラブ協議会を開催します。時間の都合上、予定しておりました、懇親会は出来なくなりましたので、関口ガバナーとのフリーディスカッションが重要になりますので、有効に使ってください。

クラブ管理運営委員会　発表　　上村文明委員長

ＣＬＰに伴い、我孫子クラブでは活動計画書の5頁のように委員会を設置しておりますが、五大奉仕に関しては若干整合性が取れていない部分があるように思います。クラブ管理運営委員会はクラブ奉仕と考えていたのですが、会員増強、広報も入っていました。

今年度会長の年次目標のもと、所期の目標を達成すべく、年間の例会運営をＳ．Ａ．Ａの管理のもと、円滑にするよう計画します。また例会出席率の向上のための施策を考え、メイクアップ等の活用を図ります。

プログラム委員長も兼任しておりますので、例会卓話の人選、内容等の検討についてのプログラムを企画、検討します。

親睦については、親睦委員長と相談し、その計画の年次予定等を立て、会員相互の親睦と元気な我孫子クラブになるよう楽しい活動を行います。

プログラムについては、今年度は職業奉仕ということで、それぞれの職業に通じた卓話を各会員に一月に一回お願いしています。

職業奉仕委員会　発表　　野田委員長

米田会長からお電話いただきまして、ガバナー公式訪問は例年は早いのですが、今年は11月末ということで活動計画書を読むだけではだめですよと釘をさされました。

関口ガバナーのお話しを聞き、職業奉仕については私の考えに近いと共感してお話しを聞かせて頂きました。

職業奉仕委員会は下部組織として職業倫理、家庭集会、会員研修の三つで成り立っています。

職業奉仕というのはロータリー活動の核であると私は思っています。まず個人がいて、クラブがあり、個人的な思いや考えがないようでしたら、会員として存在価値はないのではないかと理解しております。職業奉仕はやはり自分を磨く事が大事だと思います。

家庭集会は年3回はやる予定で、既に1回開いています。家庭集会の中で会員研修を兼ねて、ロータリーとは何か、我孫子クラブの歴史等の勉強会を進めていく予定です。

社会奉仕委員会　発表

鈴木委員長

今年の大きな社会奉仕活動である石巻の訪問を終えたばかりですので、そのご報告を兼ねて学んだ事をお話ししたいと思います。先ほど関口ガバナーが職業奉仕は心が中心であるとおっしゃっていましたが、社会奉仕もある面、同じだと思います。

貸し切りバスで片道8時間、現地に一泊して石巻を中心に被災地を訪ねた旅でした。社会奉仕委員長としては、行くときはお酒は慎みましょうとお話ししたのですが、途中何故か冷蔵庫からビールが消えていて、誰かと聞いても返事はなく、けれど顔が赤らんでくる方が何人かいらっしゃり、そんなかわいいロータリアンの方々がいとおしく、楽しかった記憶があります。

週報に写真が載っていますが、大川小学校をはじめ様々な所を訪問しました。２年半以上たって、まだこんな現実があります。佐藤会員がいてくださったからこそ、成り立った旅でした。佐藤会員は被災直後から医師として石巻に行かれました。また仕事をしながら、夜立って、向こうで物資等の支援活動をして夜帰る、という活動をご夫妻で1年半され、佐藤さんご自身が心筋梗塞になられました。

佐藤さんのお知り合いの方々に大変お世話になりました。まずバスの中で斉藤ご夫妻に案内をして頂き、被災された方なのに、奥様が私達の心と身体を笑顔で気遣いながら、丁寧に説明してくださる姿に私は感動しました。

また、奥様とお孫さんを屋根の上に避難させ待たせている間に、屋根ごと流されたという話しを友人から聞いた佐藤清吾さんは柔和な笑顔でバスを迎えて下さり、苦難を乗り越え、今、新たに１３浜漁協を立ち上げ自力で復興しようとされています。その方の奉仕の姿にも本当に感動しました。

私達が奉仕に行くということもあるのですが、むしろ被災された方が私達をもてなす奉仕の心に私は打たれました。一生忘れられない旅です。ワカメを買う事で少しでも向こうの方々の助けになればと思います。ささやかな営みですが、このご縁を大事にして、何ができるかを考えていく社会奉仕活動の核にしていきたいと思います。

国際奉仕委員会　発表

松本会員（代理）

星野委員長が体調をくずされていますので、代理で発表させて頂きます。

ロータリーの理想に「世界における親善と平和の確立に寄与することを目ざした事業人および専門職業人が、世界的に結び合った団体である」と書いてありますが、国際奉仕は具体的に身近なものとして結びつかない部分があると思うので、ＰＲ活動が非常に重要になると思います。ポリオに関しても、日本にはポリオがほとんどない為に身近なものとして響きません。

ロータリー財団の使命は何かと言うと、ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済する事を通じて世界の理解と親善と平和を達成できるようにすることだそうです。その補助金が何に使われているかと言うと、国際親善奨学生の派遣費用、ロータリー平和センターへの寄贈、ポリオプラスの寄贈に当てているそうです。寄贈について具体的に理解することはむずかしいと思います。国際奉仕がただの奉納金のようにならないように、やはりＰＲ、広報活動が重要になると思います。

また何かを行う時、小さいクラブでは大きな事は実現できないので、他クラブと合同で協力してやって行ってもよいと思います。

個人的な見解をお話しさせて頂きました。ありがとうございました。

新世代委員会　発表

服部委員長

我孫子ＲＣに入会して1年１０ヶ月経過しましたが、理事、青少年奉仕委員長、Ｓ．Ａ．Ａ．と三つの役割をいただいています。入会3年以内の退会を危惧されるポジションにいるのですが、退会ということは全く頭に浮かばない状況です。

恥ずかしながら活動計画を作成しておりませんが、何もやっていないかというとそうではなく、我孫子東高等学校の生徒さん達にインターンシップを実施しました。が、今年度はインターンシップは我孫子ＲＣの活動としては扱わない位置づけになりましたので、青少年奉仕委員会の活動は白紙の状態です。

青少年奉仕委員会の色々なセミナーに出ますと、インターアクト、ローターアクト、ライラ等のプログラムがありますが、我孫子クラブの現状に照らすと敷居が高いなと感じるので、我孫子のサイズに合った何かができないかを模索している所です。中央学院大学や我孫子高校等でボランティアをやっているクラブの皆さんとコンタクトを取り、活動支援ができればと少し考えております。我孫子クラブとしても微力ながら、次の世代につなげて行きたいと思っております。

関口ガバナー　総評　　鈴木委員長

例会に引き続き、お疲れ様でございます。

こちらの会員組織の所で私も少し戸惑っておりますが、個性を出した組織ということで理解します。皆さんで議論したものであれば、それはそれでよいと思います。

職業奉仕については、個人があってクラブがある、というのはおっしゃる通りだと思います。同じ思いの方がこちらには多いですね。言い方は悪いですが、日本の職業奉仕を大事にする心が踏みにじられているような気がします。ロータリーは職業奉仕が忘れられている時代に来ています。I serve.が基本だったのですが、１８年前にポリオの活動が始まった時にロータリーの基本原則が変わったと心あるロータリアン達が言っています。そこから国際ロータリーはwe serve.になりました。そのため、決議２３－３４は消したり付いたり消したり付いたりしています。日本のロータリーでも３４人いるガバナーの中でも、職業奉仕について議論しよう仕掛けても乗ってくるのは１０人くらいしかいません。ポリオ撲滅とか財団への寄付集めばかりです。個人の職業奉仕をヘルプするのがクラブだと思います。

寄付集めの為に、今までは現在又は過去に仕事を持っていなければロータリアンになれなかったのですが、仕事がなくてもクラブが認めればなれるようになりました。フランスには奥さんが働いて家庭の主夫をやる人が多いので、フランスから上がって来ました。私に言わせれば、ニートもロータリアンになれるわけです。仕事をしていなくても、お金持ちであれば寄付は集められると判断すれば入会を認められるかもしれません。職業奉仕を大事にしている我々としてはどうすればよいのか。

ｅクラブ、パソコンのクラブは例会場がありません。例会は金曜の１２時半から1時半まで、パソコンにへばりついていればいいわけです。入会金3万円、年会費6万円です。日本には今、ｅクラブが6クラブあります。英語ができる人はアメリカのクラブに参加することができますが、出席がどうなるのかという問題もあります。

職業奉仕の位置づけも含めてロータリーがどんどん変わっています。日本のロータリアンの会員数の世界の中での割合は7.２%です。パーセンテージを増やして、発言力を高め、職業奉仕を大事にする気持ちを伝えたいと思うので、会員増強したいと思っています。

先ほど職業制限という言葉が出ましたが、それは2年前になくなり、行動規範に変わりました。

石巻での活動、立派な社会奉仕活動をしていただきました。浦安クラブは昨年夏に被災した子ども達をディズニーランドに連れて行きました。

社会奉仕活動で申し上げたいのは、広報をして宣伝してほしいということです。

もうひとつ社会奉仕活動では新地区補助金が申請できます。単年度制ですが、人道的な事をやる時は申請してください。２０万、３０万出ます。グローバル補助金もありますので、どんどん利用してください。財団のお金は寄付するだけじゃなくて、使うものだという癖をつけてください。

ＷＣＳはグローバル補助金と重複するのでＲＩのプログラムから廃止になりました。約７０クラブの内2クラブは自分たちのお金でやっていました。浦安クラブは星野さんを信奉して１０年間毎年５０万円寄付しました。２０何年前、フィリピンまで段ボールに医薬品を２０何箱も持って行き、医師団と行きました。医薬品だけ２０何箱送った事もありますが、２箱しか届きませんでした。そんなこともあったので、この間のフィリピンの台風被害への支援も、確実に届く様に慎重に進めています。

ローターアクトは全国的に低迷しています。一番活発だった船橋西も休業状態です。高校のインターアクトは元気です。私立は先生が転勤しないし、奉仕活動で単位が取れるのですが、公立は先生が転勤するし、単位が取れないので裾が広がりません。ただ名古屋は活発なので、地区にもよるのかもしれません。青少年交換は段々活気が出て来ています。高校生の時の留学はいいものです。若い時は外国に一年間いるだけで英語が格段に上達します。

我孫子クラブさんは、ちょいと人数が足りないかなと思いますが、大変仲の良い、良いクラブですので安心しております。２０人を割ると予算的に運営が大変です。会員増強は、経験の浅い人、中間の人、古い人の四人組行動隊で活動するとよいと思います。仲良しクラブはよいのですが、安心して4、５年油断して補充しないとアウトです。若い人の意見をよく聞いて、いい所を汲んで、古い人がリーダーシップをとっているクラブがとてもよいクラブだと思います。

フリーディスカッション

上村晃一会員より

入会して４０何年になります。ガバナー月信等を読ませて頂き、ＲＩの実態がよくわかりました。今の日本のロータリーとＲＩが非常に違った形になっていると思います。ロータリーは本来理念で広がった団体だと思うのですが、寄付集めが中心になっており、地に付かないものになっていると思います。

米山財団のお金の使い方ですが、５０％を中国の学生に使っています。世界に１９４カ国あるうち、半分を中国に出すのはおかしいのではないかと思います。昨年、得居ガバナーは３０％に押さえるとおっしゃっていたのですが、今回また５０％です。

ロータリー財団は破産状態だそうですが、役に立たない金を納めさせて、寄付金を取ろうとしていると思います。

こういう所を改めてもらわないと、役に立つかどうか分からないので私は寄付金は出しません。ぜひ一つ、地区だけでも変えてほしいと思います。

関口ガバナーより

ＲＩの組織は８００人います。一人月３０万として2億4千万かかり、年間約３０億くらいかかり、他の予算を入れると年間７０、８０億かかっています。確かに経費がかかり過ぎです。

米山に関してですが、日本に留学してくる人の７５％が漢字圏です。ついこの間、色々議論して、点数の枠を作って、漢民族は３０％、少数民族は２０％でと私は決めました。ただ、中国と日本の架け橋になってくれると思ったら、みんな日本に残っています。中国では仕事もないし、ちょっと変わった事を言うと監視が付くそうです。どうしようもありません。

ロータリーの危機は１０年前からの話しです。ありがとうございました。

環境ＮＰＯオフィス町内会が中心となって２００５年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は２００９年９月現在、９２社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間３０ha の規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村力コンクールで林野庁長官賞を受賞しています。

森の町内会
間伐に寄与する紙
www.mori-cho.org

この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、
環境貢献として、「森の町内会」を応援します。